

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3597100035		
法人名	有限会社ひまわり		
事業所名	グループホームこすもす		
所在地	山口県大島郡周防大島町小松開作143 - 27		
自己評価作成日	平成22年9月1日	評価結果市町受理日	平成23年1月31日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内
訪問調査日	平成22年10月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の方々に笑顔で挨拶するという基本的なことから地域に浸透していき、地域に愛される施設を目指している。また、入居者の方や、御家族、職員間の信頼関係を築き、入居者の方々には持てる能力、個性を活かし、安心して生き生きと生活していけるように取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者一人ひとりの生活記録や、介護健康記録、医療記録が整理され、職員の日々のケアの見直しや職員同士の情報の共有につなげて、サービスの質の向上に活かしておられます。「笑顔から生まれる信頼の輪」という事業所独自の理念を实践され、利用者と職員が和やかで笑顔溢れる、明るい雰囲気の中で過ごされています。法人のバックアップ体制があり、健康管理、緊急時の対応等医療連携が取れており、利用者や家族の安心、安全につながっています。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者の方が安心して暮らしていけるように、理念を共有し、皆が実践し、努力をしています。	「笑顔から生まれる信頼の輪・私たちは地域に愛される施設を目指しています」と事業所理念を職員でつくり、事務所に掲示し、管理者・職員は理念を共有して、日々のケアの実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	インフルエンザが流行したことがあり、人が集まる所は遠慮させていただきました。地域の清掃活動には参加しています。	自治会に加入し、地域向け事業所だよりを回覧している。散歩時に近所の人と声をかけ合ったり、地域の清掃活動やボランティアによる小学生のフラダンス等の披露があり、地域と交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会を通じて、年2回地域向け通信を発行し、配布しています。		
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価により自分達の取り組み等について、考え直す機会になったり外部評価により、これからの仕事に対する意欲になり改善する機会になります。	自己評価や外部評価の意義を職員は理解している。自己評価表を職員全員に配布し、項目別に記入してもらい、管理者がまとめている。評価をすることがサービスの改善につながることでと捉えている。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の方の生活状況を報告したり地域向け通信へのアドバイスや、外部評価概要や家族の意見を頂きサービス向上に活かしています。	2カ月に1回開催し、利用者の生活状況や事故報告、職員の異動、外部評価への取り組み状況等を報告し、話し合い、意見をサービスに活かしている。	
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に地域包括センターの職員が参加され、アドバイスを頂いていますが、それ以外は行き来する機会がないので良い機会が欲しいと思います。	運営者や施設長は事業所の実情や疑問点を電話や町に出向いて、連絡を密に取りながら、協力関係を築いている。	
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関に施錠はしているが本人の希望により、外に出たりみんなで外のベンチでくつろぐ機会を多くとっています。身体拘束は行っていません。	拘束について、職員は理解を深めており、身体拘束をしないケアに努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は虐待は断じて行ってはいけない事だと、認識しており、今までした事はありません。		
9		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	いつでも勉強できるよう、資料を作り、活用できるようにしています。		
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、退去時には、利用者、家族と十分に話しをし、理解、納得の上、行われます。		
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談、苦情の受付窓口担当は、玄関内に明示し、記載しています。又、運営推進会議に御家族にも参加して頂き相談や苦情を伝える機会を、設けています。	面会時や電話、運営推進会議等で家族から苦情や相談を聞いて対応している。苦情の受付体制や処理手続きを定め周知している。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全員参加のミーティングがあり、日頃の職員の意見や将来を聞く機会があり、運営者にはいつでも伝えることができ、意見は反映させています。	月1回のミーティングで職員から意見や提言を聞く機会を設けている。代表者や施設長は日常業務の中で、職員から運営に関する意見や提案を聞く機会を設けている。	
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人で資格取得に向け、努力している。職員もあり、勤務を調整し、応援しています。		
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務年数に応じて、研修を勧めたり、社内でDVDを回覧し、研修のひとつとする事もあります。	外部研修は、勤務経験や段階に応じて受けることができるよう配慮されている。資格習得のための勤務体制の配慮など、職員が積極的に学べる機会を確保している。	
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が他のグループホームの運営推進会議に参加させて頂き、情報交換等により、勉強させて頂いています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の所に行き、困っていること、不安に思っている事、要望等を聞いたりしながら、また見学をしてもらうなどして、本人が安心出来るようにしています。		
17		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が困っていること、不安なこと、要望等 など家まで行って、相談に乗ったり、電話等でも相談に乗るなどして安心してもらえるよう努めています。		
18		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず、このサービスを必要としている場合、他のサービス利用などのことを分かりやすく、本人と家族に説明し、対応しています。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に調理や家事をしながら、利用者の得意な分野でもてる力を発揮できるように、支援したり頂いた野菜の調理法を習ったり支えあう関係を築いています。		
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と連絡をとり、共に本人を支えていけるような関係作りをしています。		
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が知人との面会や手紙、電話などを通じて関係が途切れないよう支援しています。	利用者が、以前に利用していた美容院等に行ったり、昔からの知人や利用者の教え子に訪問してもらったり、馴染みの関係が途切れないよう支援している。	
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者1人ひとりの性格、個性、相性などを考えた上で、利用者同士が孤立しないように支え合えるように支援しています。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了しても、病院等へ訪問し、相談や支援に努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時、本人の希望、思いを聴き、意向に沿うよう努めています。入居後も話をしながら、さりげない思いを汲み取るようにしています。	アセスメントで家族からの情報や生活歴を詳細に把握している。また、介護健康記録に日々の利用者の生活や行動を記録し、その中から希望や意向を把握するよう心がけている。	
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居までに家族、本人より、生活歴、暮らし方、サービス利用の経過について分かる範囲で把握しています。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の情報と任せて、日々の暮らしの中での様子を見たりしながら、適切な支援を心がけています。		
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の希望を反映した介護計画を全員で話し合い作成しています。	家族の面会時や電話で家族の希望を聞いたり、毎月のミーティングやかかりつけ医の訪問診療時に意見等聞いて話し合い、それぞれの意見を介護計画に反映させている。3ヵ月毎のモニタリングを行なっている。	
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践、結果、気づき、工夫を記録しています。職員間で情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしています。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に対応して柔軟な支援やサービスに取り組んでいます。		
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人が馴染みの美容院に行ったり、病院等に行ったりしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力医をかかりつけ医とすることを、本人、家族に了解してもらい、受診や往診の支援をしています。定期的に内科医や専門医の往診があります。	事業所の協力医をかかりつけ医とすることを本人、家族が納得しており、月2回の訪問診療、週1回の看護師の訪問相談等適切な医療が受けられるように支援している。眼科、歯科等受診の支援もしている。	
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の日常の情報や気づきを報告しており、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援しています。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際にはすぐに情報提供表を渡し、治療が進むようにしています。		
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に、重度対応の指針を示しており、入院等重度化した場合、全員で方針を共有しています。	契約時に、「重度化した場合における対応に係る指針」を説明し、実際に重度化した場合は事業所で出来ることを説明し、医師と共に支援に取り組んでいる。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	毎日、午前、午後、歩行、ストレッチを行い、転倒防止に取り組んでいます。事故、ヒヤリはと報告書に記録し、検討を行っています。毎年、救急隊による救急方法の指導を受けています。	転倒、誤薬等急変や事故発生に備えて職員は看護師より初期対応の指導を定期的に受けている。事故防止マニュアルがあり、事故、ヒヤリはと報告書に記録し、職員間で検討をして一人ひとりの事故防止に取り組んでいる。	
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を行っています。近所の方に協力をお願いして参加してもらったことがあります。	災害マニュアルがあり、年に2回は避難訓練（夜間想定も含む）や消火器の使い方などの研修をしている。運営推進会議で、民生委員や自治会長へ地域の協力を働きかけている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	誇りやプライバシーを損ねるような対応や言葉掛けはなく、個人情報の扱いには気を付けています。	利用者に対する尊敬の念や言葉づかいに関することは、日頃から職員同士で気をつけている。利用者の記録等、個人情報が流出しないよう細心の注意を払っている。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員とのコミュニケーションにより、日頃の思いや性格を察し、各個人に合った支援をしています。			
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の体調や日々の状態を把握しながら、その方のペースを大事にしています。			
40		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に美容師の来訪があり、また馴染みの美容院へ行くこともあります。各人で化粧品等は用意されています。			
41	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、配膳片付けは利用者で行っています。調理の下ごしらえを一緒にすることもあります。	三食共事業所で調理し、一人ひとりの力や好みを活かしながら、利用者と職員と一緒に準備し、味付けの出来栄等話し合い、食事を楽しんでいる。下膳も全員で行っている。		
42		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりの状態に応じた量やおかずの形状に工夫し、食べ易く、ゆっくり食事ができるように支援しています。			
43		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は緑茶によるうがいや、就寝前の歯磨き、義歯の洗浄等、口腔ケアは日常的にしています。			

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	1人ひとりの状態に合わせた排泄の支援をしています。	一人ひとりの排泄パターンを介護健康記録に詳細に記録して把握し、トイレでの排泄の自立に向けた支援をしている。	
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	服薬による便秘解消は必要最低限にし、水分補給や散歩による排便を促しています。		
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日、入浴できるようになっています。利用者のその日に体調を考慮し、入浴してもらうよう支援しています。	入浴は毎日入れるようにしてあり、時間は午前10時から午後15時までの間で、時間を気にすることなく一人ひとりゆっくりと入浴できるよう支援している。	
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分の部屋で休み、昼寝をしたりテレビを観たり、自由に過ごしています。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の表を作っており、その目的を把握し、症状の変化があれば医師の連絡し、指示を仰ぐ。その情報を職員は共有しています。		
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりのやりたい要望と能力に合った活躍できる場面をさりげなく提供しています。	一人ひとりの生活歴や力を活かして、貼り絵やぬり絵、輪投げ、カラオケ、洗濯物たたみ、洗濯物干し、野菜の下ごしらえ、お茶パック入れ等役割、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	皆で外出したり、1人ひとりの状態に応じて、個別に戸外に出かけるように支援しています。	一人ひとりの希望にそって、事業所の周りを散歩したり、季節に応じて、弁当持参で花見やあじさい祭り、ドライブ等戸外に出かけるように支援をしている。	

グループホーム こすもす

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金については、誤解を招く発言もあるので、現在本人がお金を持つようにはしていません。		
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があった時や、電話を掛けたい時、荷物が届いた時等手紙や電話が自由に出来るように支援しています。		
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールには季節の絵を飾ったり、皆で作った季節毎のカレンダー、ちぎり絵を飾り、心を和ませています。	共用の空間には、みんなが座れるソファや畳、大型テレビが置かれ居心地のよいスペースとなっている。壁には利用者で作った大きな季節の貼り絵や風景写真を展示している。リビングから山や畑が眺められ、季節を感じることができる。	
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	レクリエーションを行ったりしていますが、強要はしておらず参加する人もいればソファに座りテレビを観たり、お互いの居室やホールで自由に話しをしている人もいます。		
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、使い慣れたタンス、小物を自由に持ち込むことをお知らせしています。	居室は使い慣れた箆笥、椅子、鏡、テレビ、人形が持ち込まれ、壁には利用者の作品や昔懐かしい写真が飾られ、居心地良く過ごせるように配置等にも工夫をしている。	
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレは便所、入浴室はお風呂等分かりやすく表示しています。ホール内廊下に手すりがあり安全に歩行できるようにしています。		

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム こすもす

作成日：平成 23年 2月 7日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	50	皆で外出したりはしていますが、全員ということがなかなかできない。(体調不良などで)一人ひとりということではしていますができていない人などもあります。(体調不良などで)	外になかなかいけなくても、居室やホールでその方について少しの時間でもお話など1:1で話せたりする機会を増やせるようにしたい。	居室に入り、一緒に写真をみたり、お茶を飲みお話をする。外のベンチなど日なたぼっこをして、散歩する。1:1ということを重視する。	2ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。